



## ブラックソルジャーを活用した生ゴミ処理事業 F/S 開始！

AAI は、長年にわたりインドネシアを中心に ASEAN 諸国のゴミ問題に取り組んできたが、今もなお、廃棄物処理は大きな課題として残っている。インドネシアにおいては、ジャカルタ周辺の主要都市だけでも 1 日あたり 12,400 トンのゴミが廃棄され、その内の 4,760 トンは生ゴミである。大規模な焼却施設がまだ整備されていないため、処理しきれない大量のゴミが、ジャカルタ周辺の小さな村に運び込まれて巨大なゴミの山となっている状態である。

AAI は、このゴミ処理の課題をなんとか解決するためにさまざまな取り組みを行う中、ブラックソルジャーを活用した生ゴミ処理技術を確立した「Biomagg Indonesia 社」を見出した。

ブラックソルジャーとは、体長 15~20 mm のハエの一種で、口がなく、食べ物を食べないため寿命 5 日程度であり、伝染病の媒介にもならないと言われている。その幼虫が、生ゴミを素早く分解処理して高品質な肥料を作り出す。一方で、その幼虫は、生ゴミを餌にして 2 週間弱で 1g の卵から 2kg の幼虫に増殖する。体長 20~28 mm まで成長した幼虫自体も、高タンパク質で脂質を含んでおり、魚や家畜の飼料となる。

ブラックソルジャーが生育し易い熱帯気候であり、飼料用のたんぱく質源の需要が伸びているインドネシアにとって、このゴミ処理事業は現地に適していると言える。

現在、AAI がインドネシアのスタートアップ企業を育成支援するために設立した PT. Satria Incubate が「Biomagg Indonesia 社」を支援している。同社は、エクイティファンドの出資を受けた第 1 号企業として、今後、肥料やブラックソルジャーの幼虫の商品開発・研究をさらに行い、具体的なビジネス体制を構築していく。また、A-WING グループ全体でも同社をサポートしていく。

事業展開の目標として、今年中に日本企業や現地企業からの出資を募って SPC を設立し、本格的なビジネス展開を目指す。B to G、B to B、B to C を想定している中でも、AAI は特に B to C に注力していくことを考えており、このシステムを低所得者層に導入できる仕組みを作っていく。さらに、インドネシアでこのモデルを確立し、バングラデシュや ASEAN 諸国など同じ課題で困っている国々へ展開していく。これにより、貧困で苦しむ人々の暮らしが少しでも良くなることを期待している。



ブラックソルジャーの成虫



ブラックソルジャーの幼虫

### 【お問い合わせ】

AAI 株式会社 (アジア・アフリカ リサーチ&コンサルティング インベストメント)

〒830-0018 福岡県久留米市通町 6-23 栄電舎ビル 4F

URL : <http://www.aai-jp.com>

担当者 : 中村 廣秀, 村田 清一郎

TEL : 0942-39-8780

FAX : 0942-65-8857

E-mail : [info@aai-jp.com](mailto:info@aai-jp.com)